

～ グローバルな視点から地域社会を理解し活動できる人材を育成する事業 ～

2. 地球市民育成事業

(5) インターンシップ受入事業

年間を通してインターンシップを受け入れ、事業団の業務サポートや、事業の仕組みを学ぶ機会を提供するなど人材育成を行いました。

受入人数：9人 / 受入大学：5大学

	学 校 名	学 部	人数	受 入 期 間
1	熊本学園大学	ホスピタリティマネジメント学科	1人	令和3年4月13日～7月7日 48日間
2	東海大学	熊本キャンパス 観光ビジネス学科	1人	令和3年9月24日～10月17日 10日間
3	熊本学園大学	ホスピタリティマネジメント学科	2人	令和3年9月24日～12月17日 48日間
4	高知大学	土佐さがけプログラム国際人材育成コース	1人	令和3年10月15日～11月2日 10日間
5	尚絅大学	文化コミュニケーション学科	3人	令和4年2月1日～2月27日 13日間
6	熊本県立大学	英語英米文学科	1人	令和4年2月15日～3月22日 5日間

(6) 地球市民・人づくり推進事業

若者の資質に基づいた若年層から地球市民として海外や外国語に触れる機会を提供しました。

① 国際ボランティアワークキャンプ

将来を担う高校生たちが自ら考え、話し合い、将来の実践に結び付ける機会を持つことで「生きる力」を育むことを目的に本事業を行いました。本事業は九州圏内の高校生や留学生と一緒に合宿し、分科会やレクレーション等様々な活動を通して交流を深め、社会に対し出来ることを話し合いながら日頃の生活の中で実践できるボランティア活動に結び付けることを目的とし計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

しかし、約半年に亘り本大会を計画してきた実行委員たちが自ら分科会活動を実践、その様子を動画収録しウェブで公開するなどし、その取り組みを広く知ってもらう機会を設けました。



実行委員数：30人

《分科会》

- 第1分科会 「子どもの権利」～苦しむ子ども達を救う第一歩にしてみませんか？～
- 第2分科会 「Well-Being・より良く生きる」～自分自身を幸せにする方法を見つけよう！～
- 第3分科会 「多文化共生」～ソーシャルディスタンスに負けない心の距離～
- 第4分科会 「教育」～教育って何？自分を知る“学び方”を考えよう～
- 第5分科会 「国際協力」～踏み出そう、国際協力への第一歩～身近にある世界の扉へ～
- 第6分科会 「情報」～「情報」の本質とは？多角的な視点で考えよう～
- 第7分科会 「環境・プラスチック問題」～私達の暮らしを持続的で豊かにするために明日からできること～



📁 第16回ボランティアワークキャンプ実行委員たちの取り組み
令和5年3月31日まで web 公開

② スマイルステーション

2F スマイルステーションコーナーを活用し情報発信を行いました。

③ English Activity (E-Act) Online

高校生や大学生と留学生との間で対面開催していた英語でのコミュニケーション活動を、新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインで開催しました。

内 容：トピックを決めて小グループでのディスカッション

回 数：24回（月2回）

参加人数：延べ291人（15カ国より参加）

(7) 国際交流ボランティア/サポートセンターボランティア活動促進事業

国際化に対応した人材の育成や豊かなまちづくりを推進することを目的に、市民力を活かした各種ボランティアの登録制度を設けボランティア活動の提供、調整を行いました。

① 語学ボランティア

英語、中国語、韓国語などの通訳や翻訳を手伝うボランティア

登録人数：302人 / 活動人数：延べ16人

② 情報ボランティア

市政だよりの翻訳を補助するボランティア

登録人数：51人 / 活動人数：延べ91人

③ 市民グローバルサポーター

語学力を活かし、街角で困っている外国人を見つけたらサポートするボランティア

登録人数：115人

④ 災害時外国人支援多言語サポーター

災害時に避難所における外国人情報を収集、報告するとともに、災害情報の通訳、翻訳活動を行うボランティア

登録人数：27人 / 活動人数：2人

⑤ 地域国際化推進ボランティア

地域の学校やコミュニティセンターへ赴き、自国の文化や料理、音楽などを紹介する外国人市民ボランティア

登録人数：203人 / 活動人数：4人

⑥ ホストファミリーボランティア

海外からの訪問者に、日本人家庭にホームステイ、またはホームビジットなどを通して日本の生活を体験してもらうためのボランティア

登録家庭：161家庭 / 活動家庭：0家庭

⑦ 文化ボランティア

日本文化を指導するボランティア

登録人数：33人 / 活動人数：15人

⑧ 生活日本語支援ボランティア

地域日本語教室にて日本語学習を支援するボランティア

登録人数：824人 / 活動人数：延べ916人

⑨ 学生ボランティア

事業団の活動への理解促進と国際交流や国際協力、多文化共生等に関する理解促進の学びの場を提供、さらに学生ボランティアの自主企画として2つのイベントを開催しました。

登録人数：62人 / 活動人数：166人 / 活動件数：54件

《主な活動内容》

- ・フェアトレードマルシェの運営補助
- ・イヤーエンドパーティー（韓国フェスティバル）の企画・運営
- ・グローバルカレッジ事業の補助など

《学生ボランティア企画イベント》

- ・読書カフェ

日 時：令和4年3月12日（土）14:00～16:00

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

参 加 費：500円

参加人数：22人

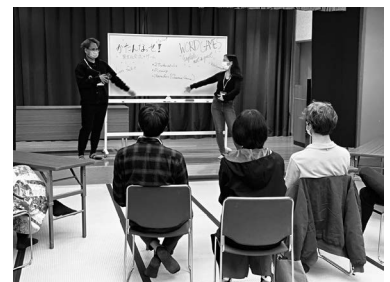
- ・かたんなっせ！異文化交流×ゲーム

日 時：令和4年3月19日（土）14:00～15:00

場 所：国際交流会館 5F 大広間 A

参 加 費：無料

参加人数：16人



⑩ サポートセンターボランティア

新型コロナウイルス感染症の影響により交流ラウンジの閉鎖や時間短縮運営となり、予定していた殆どの活動が制限されました。活動可能な期間は利用者の受付管理、検温、利用後のテーブルの消毒など通常の運営サポートを担っていただいたり、12月5日（日）に開催した「韓国文化の日」のイベントでもボランティア活動をしていただきました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で活動者が減少した為、追加募集の説明会を開催しました。

登録人数：23人 / 活動人数：延べ 376人

- ・継続サポートセンターボランティア活動説明会・意見交換会
日 時：令和3年10月26日（火）14:00～15:00
場 所：国際交流会館 3F 研修室 1
参加人数：5人
- ・新規サポートセンターボランティア説明会
日 時：令和3年10月28日（木）10:00～11:00
場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ
参加人数：5人
- ・「韓国文化の日」協力ボランティアオリエンテーション
日 時：令和3年11月27日（土）10:00～11:00
場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ
参加人数：6人
- ・「韓国文化の日」活動ボランティア
日 時：令和3年12月5日（日）10:00～17:00
場 所：国際交流会館
参加人数：7人

（8）世界をよく知るセミナー

熊本市主催の「第38回全国都市緑化くまもとフェア」の一環として開催される「エクサンプロヴァンスweek」事業に合わせ、「フランス庭園の特徴と魅力」と題し、フランス在住の講師とオンラインで繋ぎ、ヨーロッパにおける庭園の歴史と特徴について紹介するセミナーを開催しました。

日 時：令和4年3月17日（木）19:00～21:00
内 容：「フランス庭園の特徴と魅力」
講 師：遠藤 浩子氏
（フランス在住庭園文化研究家、ペイザジスト）
参 加 費：無料
参加人数：22人



（9）地域国際化推進事業(出前)

新型コロナウイルス感染症の影響により派遣依頼は減少しましたが、オンラインプログラムを企画し、事業活動ができるように環境を整えました。教育機関ではICT環境の充実により、海外からオンラインで紹介してもらうプログラムを実施しました。

派遣実績：5件 / 派遣人数：10人 / 参加人数：979人

（10）館内体験プログラム（ウォーキングガイド）

新型コロナウイルス感染症の影響により依頼は減少しましたが、国際交流会館内に籍を置く JICA デスク熊本や九州環境パートナーシップ熊本（EPO 九州）、その他、協力関係にある団体と連携し、それぞれが得意とする分野について体験型プログラムを提供しました。

期 間：通年
受入件数：2件
受入人数：54人



- 受入内容：・令和３年６月３０日（水）必由館高校１年生 ４１人
多文化共生や海外の文化、フェアトレード、国際協力活動の紹介。
・令和４年１月１４日（金）教育相談室フレンドリー １３人
国際理解・異文化紹介の紹介。

（１１）ニュースレターくまもと

事業団の活動や、地域の国際交流・国際協力に関する取り組みを広く周知することを目的に、定期刊行物を発行しました。本年は、フェアトレードシティ認定１０周年を記念して１１月に開催されたシンポジウムの特集記事を初め、防災や多文化共生に関する事業報告を掲載、その他、日本語学習者や日本語関係者に向けた日本語あるあるコラム「ちょっと日本語」や大学生インターンが日々の活動で感じたことを書いたブログ等を掲載し発行しました。

発 行：年４回（４月：春号、９月：夏号、１１月：秋号、１月：冬号）

規 格：Ａ４版、８ページ

発行部数：２,０００部

配 布 先：約２２０か所 ※主な配布先

公立施設（４０カ所）、教育機関（１７０カ所）、
県内主要機関（１０カ所）、
ボランティア（１００人）

